



超高層ビルがそびえ立つアラブ首長国連邦のドバイ首長国  
2010年1月 (EPA=時事)



アラブ首長国連邦に美容製品の販路開拓を目指す取り組みを始めた牧社長(右)と高橋慎弥社長

内能美市

イスラム教徒が多い中東では戒律によって女性の社会参加が進んでいない国も多いが、UAEでは近年、女性が接客業に就いたり、女性だけで飲食店に行ったりすることが許されるようになったことも美容製品の需要に拍車をかけている。現状ではUAEで流通す

# 能美の化粧品 UAEに照準

## 国内4社 販路開拓へ結束



アラブ首長国連邦 アラビア半島の東南端に位置し、ドバイなど七つの首長国で構成する。人口は約930万人。砂漠が大部分で、主要産業の原油と天然ガスの多くが日本に輸出されている。ドバイは超高層ビルやホテルが立ち並ぶ観光と金融都市として知られる。世界屈指の人工港を拠点に中東経済の中心地とされる。観光都市として人気を集め、2017年に過去最高の1579万人を記録した。

能美市の化粧品メーカーなど美容製品を手掛ける国内4社が連携し、中東のアラブ首長国連邦(UAE)で販路開拓を目指す取り組みが3日までに始動した。世界中から投資マネーを集めて経済発展が著しいUAEでは、女性の社会進出が急速に進む一方、高温で乾燥しやすい気候の影響で肌に悩みを抱える女性が増加していることに着目した。来年1月に現地での市場調査を皮切りに、能登産ワインから抽出した酵母を使った基礎化粧品などを売り込む。

WAKOメディカルコスメティック(能美市)、化粧品の原材料商社アンコール・アン(東京)、美容家植村秀氏が設立したサプリメント製造のイムタイン(同)、化粧筆製造の丹精堂(広島県熊野町)で、日頃から取引や交流がある。

TOWAKO社の牧義雄

社長によると、UAEでは日中の気温が40度近くとなり、強い日光と乾燥のため富裕層を中心に美容に対するニーズが高い。国全体の美容業界の売上高は日本円に換算して1300億円超とされている。

女性が社会進出



## 能登ワイン原料

# 来年から市場調査

4社は化粧品製造のTO

WAKOメディカルコスメティック(能美市)、化粧品の原材料商社アンコール

・アン(東京)、美容家植村秀氏が設立したサプリメン

ト製造のイムタイン(同)、化粧筆製造の丹精堂(広島

県熊野町)で、日頃から取

引や交流がある。

る美容関連商品は欧州製が中心で、日本メーカーは後れを取っているが、4社は経済産業省の「ふるさと名物応援事業補助金(JAPANブランド育成支援事業)」の採択を受け、商機を探ることにした。

20年度に本格販売

来年度は日焼け防止や美

容効果を意識した試作品を

UAEの首都アブダビ、ド

バイで市場調査を行う。日

本人が経営する美容サロン

のほか、美容商品を扱う商

人入れられる化粧品やサプ

リ類、化粧筆などのニーズ

の把握に努める。

案し、2020年度以降の

開発し、現地の美容院や工

ステティックサロンでテスト

を重ねる。商社には試作

品と4社のセット商品を提

供する。

TOWAKO社は創業8

年目。能登産ワインの製造

工程で廃棄される成分から

抽出した酵母を用いた化粧

品「ラヴィージョ」などを

## 加賀雁皮紙で「亥」



## 加賀雁皮紙で「亥」

川北町中島の工房「加藤和紙」は3日までに、町特産の和紙「加賀雁皮紙」を使った来年の干支「イノシシ(亥)」の置物30体を完成させた。木目込み人形に、経年で少し茶色くなつた雁皮紙を貼り付け、優しい風合いに仕上げた。北海道や関西など全国各地のファンに発送するほか、一部を工房でも取り扱う。

置物は高さ約11cm、幅約13cmで、1体作るのに3日ほどかかる。藩政期から続く雁

### 川北の和紙工房 干支の置物完成

皮紙製造を受け継ぐ8代目の加藤満紀子さん(66)が今年夏に製作に取り掛かった。目や鼻、ひもを取り付け、「開運招福」の札も下げた。

加賀雁皮紙は防水、防虫効果に優れ、保存性の高さが特長。3月には町が加藤和紙に伝わる手書き和紙の製造技法を無形文化財に指定した。加藤さんは「製作は大変だが、毎年待ってくれている人がいる。これからも続けたい」と話した。

雁皮紙で仕上げられた来年の干支「イノシシ」の置物 川北町中島